

平成 2 2 年 9 月

伊東市議会 9 月定例会

代表質問要旨

伊東市議会

代 表 質 問 順 序

1 民主党・刷新の会 鈴木 克 政 君

2 正風・興志会 宮 崎 雅 薫 君

3 日本共産党 佐 藤 美 音 君

4 輝 2 1 稲 葉 富 士 憲 君

5 清 峰 ク ラ ブ 佐 々 木 清 君

6 公 明 党 楠 田 一 男 君

代 表 質 問 要 旨

民主党・刷新の会 鈴木克政

平成21年度決算より以下伺う。

- 1 平成21年度決算概要説明書では、「健全化判断比率や経営収支比率、実質収支比率などの財政指標からも、本市の財政は、確実に健全化の方向へ向かっているものと判断しております。」と結んでいるが、最近の市税収入の傾向を見るとその限りではないようにも思われる。本市の財政力についての考えを伺う。

- 2 平成21年度の経済対策は、専決を含め7回にわたる一般会計予算の補正の中で行われた。財源を国の平成21年度補正予算に盛り込まれた臨時交付金等を活用したもののや本市独自の経済対策などさまざま行われたが、その検証をいかにされたか伺う。

- 3 観光商工費の観光宣伝委託事業や観光宣伝補助事業は、短期的誘客に寄与すべき事業が行われているものと思う。国内への誘客宣伝事業のほか、近年、インバウンド関連事業に力を入れているようだが、その成果について伺う。

- 4 ふるさと雇用再生特別基金事業として密漁防止漁場巡回業務が行われ、注意・指導を受けた人や検挙された人が多数出て、一定の成果が出ている一方で、「観光的イメージがよくない」、「親子連れには教育上よくない」、「磯遊び客が減り用具が売れない」とする釣具商の方など、さまざまな意見がある。漁場を守りながら楽しく遊べる磯づくりに取り組む考えはないか伺う。

5 競輪事業は売り上げの一部を公共で使用することにより賭博罪を免れるとしているが、伊東市内においては平成12年度から一般会計への繰り入れがなく、競輪事業と賭博罪の関係から言えば、赤字であれ一般会計への繰り入れが必要であると思うが、いかがか。また、施設を管理する三生興産の親会社は、平成17年に東日カーライフグループからジェイブリッジへ、本年1月にはジェイブリッジからトーヨーコーポレーションとテーケーワイの共同へと移ったが、このことにより施設運営に支障はないのか伺う。

6 本市では職員によるサマーレビューを行い、平成21年度分として一般会計において、市長交際費、入湯施設管理団体補助事業、特別誘客宣伝補助事業など47事業の見直しで8,150万円の節減が図られたとしている。一方、隣の伊豆市では、先ごろ、市民の手による事業評価会が行われ、また、沼津市や静岡県でも市民を交えた事業仕分けが行われている。本市では見直された事業のその後の検証をいかにされているのか、また、市民による事業評価について行う考えがないか伺う。

代 表 質 問 要 旨

正風・興志会 宮 崎 雅 薫

平成21年度決算と当面する課題について、以下7点伺う。

- 1 財政力指数や自主財源比率の低下をどのようにとらえているか。

- 2 市税や使用料等の収入未済額の滞納整理や不納欠損処分等について
 - 市税や住宅使用料、保育料などの滞納状況について
 - 滞納防止の活動や滞納整理の対応について
 - 所得税失格者の所得調査について
 - 不納欠損処分の理由や判定基準について

- 3 地方交付税が予算現額より大きく上回ったのに対し、国庫支出金、県支出金、繰入金、市債が下回った理由について

- 4 歳出決算の不用額と義務的経費のうち、扶助費、公債費の今後の動向について
 - 総務費、民生費における1,000万円以上の不用額が発生している事業があるが、その理由について
 - 年々増加している扶助費の状況と今後の趨勢について
 - 公債費支出の今後の見込みについて

- 5 民生費児童福祉施設費にかかわって、保育園の民間委託について
 - 富戸保育園の運営状況について、また、その費用負担や保育内容について
 - 通園者の意見などについて
 - 22年4月から指定管理者制度に移行した湯川保育園の運営状況について

6 清掃費について

家庭系可燃ごみ及び粗大ごみの有料化並びに事業系可燃ごみの指定袋制度の導入後の市民の反応について

有料化導入後のごみの搬入量の推移について

環境美化センターの更新改良整備計画について

7 競輪事業特別会計について

21年度に実施した開催経費の削減や開催日程の削減内容について

スピードチャンネル放映やチャリロトの導入効果について

記念競輪の入場者増加を目指した検討内容について

交付金の削減や選手賞金の見直しなどの構造的な改革の取り組みについて

代 表 質 問 要 旨

日本共産党 佐藤美音

年度中途の9月に、長く続いた自公政権から民主党への政権交代があり、国民の期待が高まったが、実行される政策の整合性がとかく問題にされた平成21年度であったが、本市の21年度決算を踏まえ、次の諸点を伺う。

- 1 子供の貧困の実態をどうとらえ、どういう手だてや政策を講じることで、豊かな子育て環境が提供できると考えるか。

保育所待機児童解消や子育て支援センターの充実をどう進めるか。

学童保育所の入所希望をかなえるとともに、環境拡充をどう進めるか。

義務教育の無償化を進める上でも、就学援助制度が活用しやすくなっているか。

乳幼児医療費助成の対象年齢拡大と一部負担の解消を図るべきではないか。

子供の命を虐待から守るための対策のさらなる充実を図るには。

- 2 第4次総合計画（案）作成に向けての市民会議が昨年開かれたが、総合計画諮問案に市民の声がどう反映されたか。また、その他のさまざまな計画とどう整合性が図られているか。

- 3 実質収支額約4億9,000万円という黒字決算だが、一方で人件費は、平成15年度を100とすると、平成21年度は77にまで落ち込み、職員数も大幅に減少しているもとの、さまざまな事業に弊害が出ていると考えるがどうか。

- 4 100歳以上の高齢者の所在が問題になっている。伊東市でも敬老祝い金の節目支給により、70歳以上の方への訪問が限定された。高齢者への見守りをどう進めるべきと考えるか。

- 5 国民健康保険事業における年度末基金残高は、5億9,000万円余に上る。国民健康保険は、低所得層の加入が多い上、重い負担となっており、その解消が求められている。国保税の引き下げを行うべきと考えるが、いかがか。

代 表 質 問 要 旨

輝 2 1 稲 葉 富士憲

1 経済対策について問う。

平成 2 1 年度に実施した緊急経済対策を、どのように評価しているか。

今後の経済対策、あるいは雇用対策として、どのようなものを検討しているか。

2 今後の本市の高齢化の進行をどのように予測しているか、また、高齢化の進行に伴う本市財政への影響をどのように予測しているか問う。

3 本市を訪れる観光客の減少傾向を、どのように分析しているか問う。

4 ゴミ焼却炉建設計画について問う。

資金計画の概要を問う。

新しい炉になることでゴミの分別方式等が変わることはないか。

新焼却炉では、発生した熱をどのように利用するのか。

代 表 質 問 要 旨

清峰クラブ 佐々木 清

1 平成21年度決算について

人件費比率が毎年減少していることに対し、物件費比率が増加している点について伺う。

民生費が増加する中で、生活保護費の審査に関し、国の指導があったとの報道がされたが、正確な内容について伺う。

障害者自立支援事業の中で、身体障害者入浴サービスが半減した原因について伺う。

ごみの収集量が減っているが、じん芥処理費が余り減っていない原因について伺う。

元気のある地域づくり応援事業費の執行率が不十分ではないかと思うが、その原因について伺う。

2 経済と政治が大きく変化する中での市長の基本的な政治姿勢について

定住人口を増加させる施策について伺う。

新しい観光の姿として、観光業と農林水産業との連携強化策について伺う。

新型の情報端末機器の流通が著しい中、観光情報の発信について、新しい手法を検討する必要があると考えるが、いかがか。

観光地の新たな取り組みとして脚光を浴びている「医観連携システム」について、湯量の豊富な本市の天然温泉をどのように活用していくのか伺う。

新市民病院開院後の病院跡地の利用計画について伺う。

代 表 質 問 要 旨

公明党 楠 田 一 男

1 平成21年度決算に関して伺う。

市税等の徴収に関する質問として

- ア 徴収員収納事業で徴収した金額には延滞金も含まれているか。
- イ 自治体の中には、自主財源確保への寄与と生活を守るという側面から、延滞金の軽減措置や免除措置が機能するような仕組みに改めようとする動きがあるが、市長の考えはどうか。

戸籍住民基本台帳に関する質問として

- ア 高齢者の所在不明が問題視されているが、本市ではどのように対処しているか。
- イ 現在までの調査結果はどうか。

児童福祉に関する質問として

- ア 児童虐待の相談件数25件は第三者の通報によるものと理解してよいか。
- イ 母親の育児不安や孤立が虐待の温床になっていることから、生後4カ月までの乳児がいる全家庭を訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」が平成19年度から多くの自治体で実施されているが、本市の取り組みはどうか。
- ウ 保護者向けプログラムとして注目を集めている「コモンセンス・ペアレンティング(CSP)」に対する本市の考えはどうか。

文化財保護に関する質問として

- ア 年々増加する遺物や市民等から提供される資料を整理・保管するには手狭となった文化財管理センターの機能を、どのように考えているか。
- イ 文化財保護監視員による指定文化財パトロール事業と文化財啓発事業の成果はどうか。

2 集中改革プランに関して伺う。

計画に示されている「さくらの里整備事業」における桜の再整備計画と実施状況、「城ヶ崎海岸整備事業」における遊歩道の整備計画と実施状況、「観光会館建設事業」における施設の老朽化と耐震構造でないこと等を踏まえた建てかえ計画と検討状況、「総合体育館建設事業」における調査・研究の進捗状況はどうか。

「民間委託の推進」から「公の施設の管理運営」における「御石ヶ沢清掃工場、御石ヶ沢最終処分場、環境美化センター、伊東市クリーンセンター」の委託化検討状況、「日常業務」におけるホームページ運営の委託化検討状況はどうか。

「定員管理の適正化」から、計画に対する実施状況はどうか。

この5年間の経費削減等の財政効果について、以下伺う。

- ア 税の徴収対策について
- イ 使用料・手数料の見直しについて
- ウ 事務事業の整理合理化について

総務省が示した「総人件費改革」、「公共サービス改革」、「公会計改革」の3点について、本市の考え方と取り組みはどうか。

3 伊東市行財政改革大綱に関して、達成度がCランクに位置づけられた「生産納税人口の定住化の推進」、「伊東市税等徴収対策本部会議による取り組みの強化」、「夜間、休日の納税相談の実施」、「施設の使用料の見直し」について、その状況と課題について伺う。